

## 安心院方式の受け入れの特徴

農村体験学習というと、旅館や民宿に宿泊し、午前中みんな仲良く田植えや稻刈りを体験し、午後から体験メニューを子どもたちに選択させる方法が一般的のようです。これで教育目的が達成できたといえるでしょうか？

安心院では、農業や農村生活を通して、日頃とは異なったもう一つの生活を体験していくことに重点を置いています。農村生活そのものに入り込み、制限された時間内にメニューを消化するのではなく、ゆっくりと流れる農村時間で受け入れ家族と一緒に農作業や食事づくりを行ったり食事をしたりしながら、ふれあいの時を過ごします。本物の非日常体験こそが、子どもたちには新鮮であり、人の優しさや農村に対する認識を子どもたちに与えるとともに、農村に住む人々にも地域に対する誇りの気持ちをもたらしています。

①受け入れはホテル、旅館、民宿ではなく、農村のごく普通の民家に泊まります。「農村民泊」（農泊）という新たな農村の過ごし方。安心院方式と呼ばれグリーン・ツーリズムの先進地として安心院は全国から注目されています。

②受け入れ家庭では親戚の子どもを迎えるような気持ちで接します。農村の生活スタイルを変えず受け入れ、家族同様の時を過ごします。

③受け入れ家庭では、統一された農村体験や食事を提供するのではありません。受け入れ家庭毎に得意なメニューで対応します。普段着で飾らないもてなしや生活体験こそが必要と考えるからです。

従来のように統一された体験プログラムを並べ立てることが重要ではないのです。

④町に日本初のグリーン・ツーリズム専属の係を設置しています。農泊家庭の募集、受け入れ説明会の実施など、町がグリーン・ツーリズム研究会と連携し、主体で取り組んでいるから安心です。受け入れ窓口が一本化かつ専属化されているため、学校側、受け入れ側の対応がスムーズです。

なお、体験料については体験日数、食事回数等により異なりますので、直接お問い合わせください。

## 会員制農村民泊メンバーズカードについて

農村民泊体験の受け入れは会員制です。一般の方のみならず学生の受け入れの際にもメンバーズカードを発行し、受け入れ家庭にてメンバーズカードをお渡しします。カードの裏面に受け入れ先の方の印鑑を押す仕組みになっており、「1回泊まれば遠い親戚、10回泊まれば本当の親戚」をキヤッチフレーズに、これまでに多くの利用者がリピーターとなり、10回以上宿泊し本当の親戚になられた方もたくさんいます。



遠い親戚から本当の親戚へ～農泊メンバーズカード

## 農業・農村体験内容

### ①畑・果樹園・菜園作業・牛の飼育等の農作業体験

(汗を流して働くことの大切さや、農業の厳しさ、楽しさを学んでいただきます)

例：野菜の収穫作業、田んぼやぶどう園での作業、牛の飼育 等



### ②周辺の名勝旧跡等の見学、山や川の幸の採取等の農村体験

(日頃経験できない農村ならではの体験をしていただきます)

例：安心院町内の観光見学、竹工作、ホタル鑑賞 等



### ③田舎の食材を使った料理、菓子づくり等の体験

(安心安全な食へのこだわりと自分で作ったものを食べる幸せを感じていただきます)

例：だんご汁、うどん、とうふ、まんじゅう作り 等



※以上の3つを基本とした、各家庭毎のプログラムでの体験となります。

また、体験の実施時期や受け入れ家庭によって体験内容は異なります。

## 体験学習受け入れ日程

### 【例：2泊3日の場合】

1日目 安心院町到着後、歓迎式  
各家庭へ移動し、受け入れ家庭毎に食事・農業・農村体験及び宿泊 等

2日目 終日、各家庭毎に食事・農業・農村体験及び宿泊 等

3日目 各家庭毎に朝食もしくは昼食後、お別れ式  
安心院町出発  
※農村民泊の受け入れ可能人数は各家庭毎に異なり1軒あたり3~8名程度になります。



歓迎式の様子



お別れ式の様子  
(多くの生徒が涙々で別れを惜しむ)

## 体験学習・修学旅行等受け入れ実績

### 【小学校】

- ・大分市学習塾 光陽外語学院 等

### 【中学校】

- ・福岡文化学園 博多女子中学校
- ・北九州市立穴生中学校
- ・北九州市立白銀中学校 等

### 【高等学校】

- ・大分県立大分商業高等学校
- ・大分県立大分西高等学校
- ・埼玉県立新座高等学校
- ・大分県立安心院高等学校 等

### 【大学・短期大学】

- ・大分大学
- ・大分県立芸術文化短期大学
- ・東洋大学
- ・立命館アジア太平洋大学 等

## 今、子どもたちの農村民泊体験学習が感動を呼んでいます!!

### 【子どもたちの感想】

○3日間、大変お世話になりました。農泊体験学習をすると聞いた時は不安でした。

しかし、安心院の方々は笑顔で迎えてくれて、不安はすぐになくなりうれしさと楽しさが増してきました。晴天で風は涼しく草木が生い茂っている、文句のない最高の環境だと思いました。安心院での2泊3日は、みんなで協力して農作業を体験し、農家の方々の仕事の大変さを知り、人の出会いの素晴らしさを学べたと思います。別れの日は、頭の中が色々な想い出でいっぱいになり、涙が止まりませんでした。こんな素敵な体験を後輩にもしてほしいと思いました。本当にありがとうございました。



○3日間という長いような短いような期間でしたが、忘れられない思い出がたくさんできました。安心院町へ行ってみると自然がいっぱいいて、何よりも驚いたのは町の人が優しく声をかけてくれ、笑顔で接してくれたことです。農業体験では、農家の方に親切なアドバイスをもらいとても充実したものになりました。見たこともないおかずや新鮮な野菜の料理。すべておいしかったです。この3日間で初めての貴重な経験をたくさんすることができました。これは僕たちを優しく迎え入れてくださった「安心院」の皆さんのおかけです。いろいろと迷惑をかけたかもしれません、とてもとても楽しかったです。心ある町「安心院」。町のみんなが明るく迎えてくれる、本当に「心」ある町だと思います。今度は家族みんなでおじちゃん、おばちゃんに会いに行きたいです。3日間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

### 【保護者の感想】

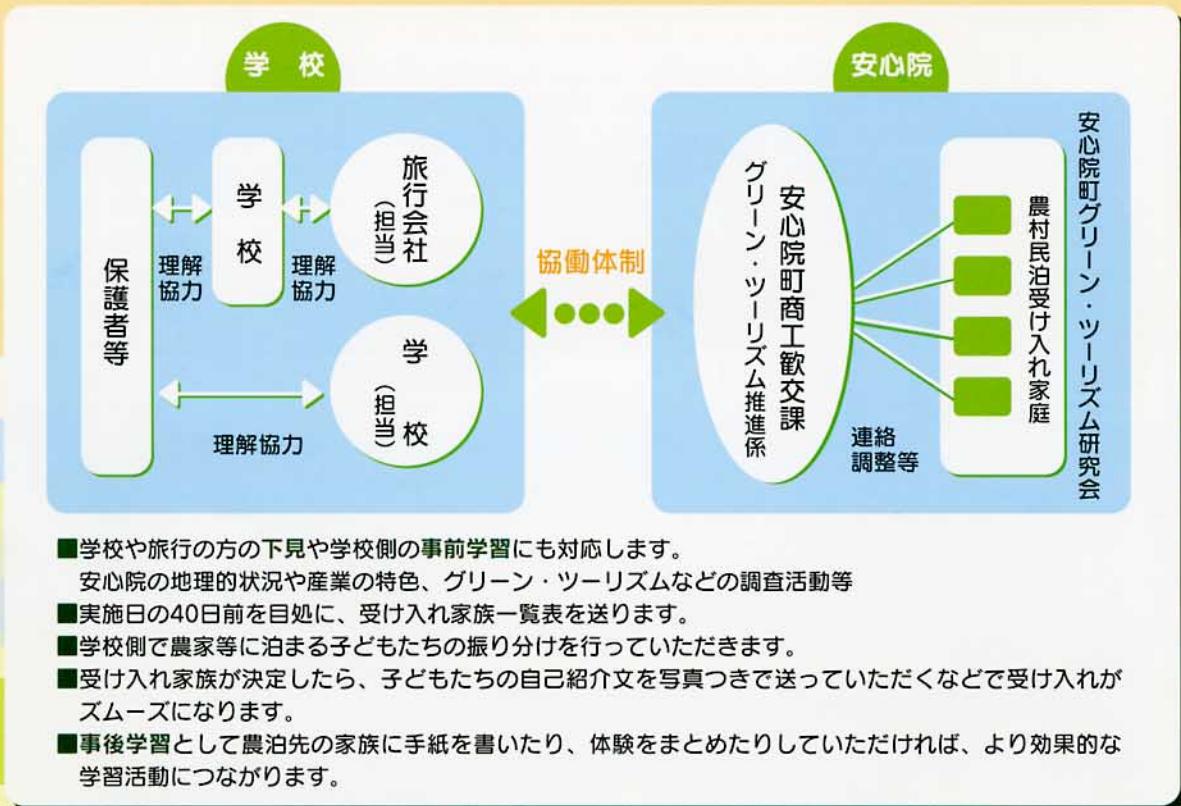
○農村の家庭に宿泊して農作業を経験するという貴重な体験で、普段の都会での学校生活では決して学ぶことのできない、食べ物に対する考え方や、農家の皆様に対する感謝の心など、きっとこれから成長に欠かすことのできない豊かな気持ちをたくさんのお土産と共に帰宅したのではないでしょうか。2泊3日という短い期間でも、お世話してくださった方々には、多感な時期にある子どもたちを預かる事は大変なことだと思います。この感想の場を借りてお礼を申し上げたいと思います。「お別れの時は、涙がでたよ。」と言っておりましたので、とても有意義な3日間だったのでしょう。早速、お礼の手紙を書いて出したようです。



○親戚に農家はあっても、そこにお世話になったことはなく、子どもにとっては新鮮な体験ができた2泊3日の農泊体験であったと思います。帰宅後、よほど印象に残ることがあったのでしょうか。少し涙を浮かべながら、たくさんの思い出を話してくれました。親の私が体験してみたいと思うようなことばかりで、正直うらやましいと思うくらい素晴らしい日々を過ごしたようです。この素晴らしい体験を機会に、食物を作る農家の方々の苦労、努力を少しでも理解でき、食べ物を大切にする心を忘れずに育ってほしいと思います。

## 農業・農村体験学習受け入れシステム

担当者同士の協働によって、下見などの事前準備の実施、保護者等への説明、受け入れ家庭の決定など、送り出し側と受け入れ側の双方による協働・理解を深めながら進めています。



## 安心院へのアクセス



問い合わせ先 大分県 安心院町 商工歓交課 グリーン・ツーリズム推進係

〒872-0592 大分県宇佐郡安心院町大字下毛2115番地  
TEL 0978-44-1111(代) FAX 0978-44-2075

○安心院町HP <http://www.green.oir-net.jp/ajimu>  
○安心院町グリーン・ツーリズム研究会HP  
<http://www3.coara.or.jp/~ajimu/>